

三 従来の何かが...
彼つて来たが、今日の形勢は是非とも特別活動機關を置いて、事業の遂行を必要とする。故に本案を提出する。

労働者援會組織の提唱に関する決議案

提案理由

吾々は過去数次の階級的な争議に於て、鬥争の意味に於ける労働者援會の如何に必要なるかを知らず、同時に吾々の背後にその機關の欠除せる怨みを痛感する。かつて日無産階級犧牲者援會なるものは存在した。然し何時の間にか立消えとなり、今吾々はその存在を知らずい。勿論その消滅は官憲の猛烈なる圧迫と財力の僅少を原因とすると思ふ。けれども当時労働者自身の内部に熱烈なるその要求を欠き、従つてその声援を得なかつたことに主要原因があると信ずる。故に、吾々は、今次の経験と過去の失敗に基き、大労働者援會組織運動を起さんことを決議する。

実行方法

- 一 島ら申る無産者團體に今次の吾々の経験を語り、本大會の決議を遂げんことを。
- 二 之を日本労働組合評議會全國大會に提議し、全國的運動とすること。

全國的總聯合に関する建議案

提案理由

資本攻勢の現在に於て、總聯合の必要は最早より一列を繰り出すべからざる急務である。此の時に於て、吾々の最急期務として、第一無産政黨の結成を見たのは喜ばに堪えなげし所である。併し、我が國の労働組合の状況を見るに、小党分立して、仲々一致の行動に出るは、甚だ遺憾と言はねばならぬ。

我々は、従来日本労働組合評議會の下に、總聯合形成の過程として、地方評議會の樹立を主張して来た。而して現在関東或は大阪其他の地方に労働組合評議會或は其他の協議會(例へば失業、政黨、労働法制等の問題)による協同戦線としての)名によって無産團體の評議會が作られておる。